

# 地球🌍にやさしい 発色法

塗料をぬらずに  
色をつける!?



日本に生息する「タマムシ」という昆虫は森の宝石と呼ばれるほど綺麗な色をしています。タマムシの色は、色素による発色ではなく、外皮の透明な膜が何層にも重なっており、この層を光が通るときに特殊な反射が起きて発色しているのです。このような発色機構を「構造色」と呼びます。

このメカニズムを利用すれば、金属の表面を加工することで多様な色を出せるので、石油系の塗料も含まれず、金属を溶かせばリサイクルが可能なので、とても環境にやさしい技術なのです。